

# 甲佐町地域支え合いセンター



## 精神障がい者への理解について学ぶ

～民生委員・児童委員、地域福祉推進員、地域支え合いセンター職員との合同研修会～

令和2年10月7日、甲佐町生涯学習センター「輝」ホールにて甲佐町地域支え合いセンター主催の講演会が行われ、68人の参加がありました。

講師に熊本県精神保健福祉センター宮本靖子氏を迎え、「精神障がい者を取り巻く状況・疾患及び障害について」と題し、精神障害福祉の現状、統合失調症、依存症、うつ病等について長く精神保健業務にあたってこられた経験等を交えて話されました。

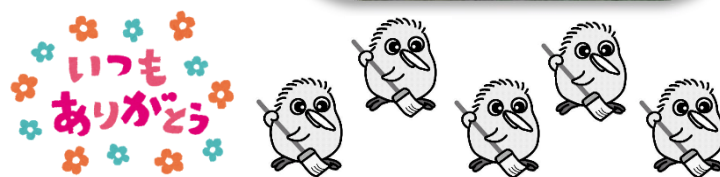


また、ひきこもり体験談としてピアサポーターの田丸氏からは病状の経過の中での苦悩、医師や家族との関係性、信頼できる人との出会いで精神状態が安定したこと等、自らの体験に基づいて話されました。参加者からは実体験の話でとても分かりやすかったとの感想がありました。

## 活動状況

熊本地震後、町内6ヶ所に228戸の仮設住宅が建設されました。地震から4年半が経過し、自宅再建、災害公営住宅、民間賃貸住宅等に再建が進み9月末には全て退去されました。みなし仮設入居世帯は最大61世帯ありましたが、令和2年9月末は2世帯となりました。来年には退去される予定です。

現在は新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、みなし仮設、災害公営住宅、住まい再建済み（独居高齢者・高齢者のみの世帯・障がいのある世帯等）世帯への訪問、巡回等の活動を行っています。災害公営住宅では、独居高齢者が半数を超えますが、お互いに見守りながら芝生の草刈り、落ち葉拾い等の清掃を三密に注意し、入居者の皆さんで維持管理されています。



本年も大鵬薬品工業からチオビタドリンクの提供がありましたので、みなし仮設、災害公営住宅に入居されている世帯に県防犯協会の職員と一緒に配付しました。